

第41回常総広域圏高等学校硬式野球大会実施要項

- 1 趣 旨 常総広域圏内高等学校相互の親睦を図るとともに、当地区の野球技術を向上させることを趣旨とする。
- 2 主 催 常総地方広域市町村圏事務組合
- 3 後 援 常総運動公園連絡協議会・関係市教育委員会
県南・県西高等学校野球連盟
- 4 期 日 令和3年5月26日(水)・27日(木)・28日(金)
※予備日 6月2日(水)・3日(木)
- 5 会 場 常総運動公園 野球場
- 6 参 加 資 格 常総広域圏内及び坂東市の高等学校に在学する生徒によるチーム編成とする。
- 7 試 合 方 法
 - (1) トーナメント方式とする。
 - (2) 決勝戦を除き同点の時はタイブレーク制により決する。
 - (3) ルール等は公認野球規則及び日本高等学校野球連盟規定に基づく。
 - (4) コールドゲームについては、5回終了時10点差、7回終了時以降7点差とする(決勝戦を含む)。なお、途中降雨等のため試合が続行できなくなった場合、試合が成立する5回以降は降雨コールドゲームとする。ただし、同点の場合は抽選とする。なお、ノーゲームの場合は順延とする。
- 8 申し合せ事項
 - (1) ベンチは組み合わせ番号の若いチームを1塁側とする。
 - (2) シートノックは7分以内とする。
 - (3) 出場選手は必ず同一ユニフォームを着用すること。(本大会において、岩井坂東清風高等学校については学校統合の都合につき、岩井高等学校及び坂東清風高等学校の混成ユニフォームになることをご了承下さい)
 - (4) 球場内のフリーバッティングは認めない。また、球場隣接のアップ会場(陸上競技場)では必ず運動靴(スパイク禁止)を着用し、キャッチボール、ランニング、ストレッチのみとしノックは禁止とする。
 - (5) 試合開始の30分前までに会場に到着していない場合は棄権とみなす。ただし、特別の事情により試合前に連絡があった場合は、予定開始時刻の20分後まで認める。
 - (6) 試合当該チームにて、レーキ掛け(シートノック前後と5回終了後)、ライン引き(シートノック後と5回終了後)、場外ファールボールの回収(ファールボーイ含む)、本部席(アナウンス・スコア記入・得点表示操作)、ボールボーイを担当すること。なお各担当に割り振る人数については、大会運営に支障のないよう両校で調整し選出すること。
 - (7) 大会参加申込書及び登録名簿は、試合当日に事務局まで提出すること。なお、登録名簿を変更したい場合は、随時事務局へ再提出すること。
 - (8) 登録メンバー表(市販品可)は前試合終了時に本部席用・審判用・対戦チーム用の計3枚を本部席に提出する。
 - (9) ベンチ入りは登録メンバー及び記録員を含め21名以内とする。
 - (10) 各チームスポーツ傷害保険に加入し参加すること。なお、試合中の怪我については、主催者側において応急処置を行う。
 - (11) 別紙「常総広域圏高等学校硬式野球大会における感染症拡大防止のための運営方針」を遵守すること。
- 9 事 務 連 絡
 - (1) 開会式及び閉会式(表彰式)は行わない。
 - (2) 三位決定戦は行わない。
 - (3) 当日が悪天候等及びその他の事情により開催が危ぶまれる場合、大会期間中は朝6:30に状況判断をするので、各校にて大会事務局まで問い合わせ確認をすること。

大会事務局 〒302-0117 守谷市野木崎4700番地
『常総運動公園』 TEL 0297(48)5688
FAX 0297(45)7365

タイブレーク適用時の試合続行方法

- (1) 9回両チームの攻撃が完了し得点が等しいときは、10回以降の攻撃は「無死走者一、二塁」の状態から行うものとする。
- (2) チームは10回以降の攻撃を開始するに当たり、打順は9回からの継続打順とする。
(11回以降は前イニング終了後の継続打順)
- (3) この場合の2人の走者は、前項の先頭打者の前の打順のものが1塁走者、1塁走者の前の打順のものが2塁走者となる。
- (4) 守備側の選手交代及びポジション変更、攻撃側の代打及び代走は認められる。

タイブレークで延長15回までに決着がつかない場合及び途中降雨の場合

延長15回で決着がつかない場合と、途中降雨等で止む無く試合続行が不可能になった場合は抽選とする。抽選の方法は両チーム9人ずつ計18人にくじの入った封筒を引かせ、1つだけ〇印のくじが入った封筒を選んだチームを勝ちとする。封筒は審判員が回収し開票する。くじを引く順番は先攻のチームから一人ずつ交互に行うものとする。